

2025 年 8 月 1 日
電源開発株式会社

株式会社ハイドロヴィーナス、Watasumi 株式会社、環境微生物研究所株式会社へ
出資を決定しました
～地域発・大学発の技術とともに、脱炭素に向けた新たな一歩～

電源開発株式会社（以下、「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：菅野 等）は、株式会社ハイドロヴィーナス（以下、「ハイドロヴィーナス」、本社：岡山県岡山市、代表取締役：上田 剛慈）、Watasumi 株式会社（以下、「ワタスミ」、本社：沖縄県国頭郡恩納村、代表取締役：シンプソン・デイヴィッド）、環境微生物研究所株式会社（以下、「環境微生物研究所」、本社：石川県野々市市、代表取締役：馬場 保徳）の 3 社に対し、各社が実施する第三者割当増資を引き受け、出資することを決定しました。

本件は、Jパワーがスタートアップスタジオの Spirete 株式会社と共同で運営していた、サステナブル社会の実現を目指す起業家や研究者への資金提供と事業化支援を行う Sustainability Transformation Startup Lab プログラム※において、ハイドロヴィーナス、ワタスミ、環境微生物研究所の 3 社を採択したことを受けて決定したものです。

※2024 年 5 月 10 日 Spirete 社ホームページ公表：<https://www.spirete.com/sxlab>

ハイドロヴィーナスは、水の流れにより半円柱型の振り子を振動させて発電する、革新的な水流発電システムの開発・販売を行う、2015 年 1 月創業の岡山大学発のスタートアップです。独自技術の流体励起振動に基づいた水流発電とセンシングが可能なデバイスにより、オフグリッドのエネルギー・通信プラットフォームの形成を目指しています。

ワタスミは、食品・飲料工場等からの排水を最先端の微生物の技術を使い、有機物を除去すると同時にエネルギーを創出する有機排水処理システムの開発・販売を行う、2021 年 10 月創業の沖縄科学技術大学院大学（OIST）発のスタートアップです。微生物が有機物を分解する過程で電気を発生させる微生物燃料電池技術の応用により、コンパクトなモジュール構造で嫌気性処理を実現し、従来の好気性処理（曝気槽）と比較して電気代、汚泥処理コスト、設置スペース、CO2 排出量を大幅に削減できます。

環境微生物研究所は、牛の胃のルーメン液を用いて雑草や野菜くず等の植物性残渣を効率的に処理し、メタンガスや電気を創出するメタン発酵システムの開発・販売を行う、2022 年 8 月創業の石川県立大学発のスタートアップです。植物性残渣の処理費を削減するとともに、発生するバイオガスの活用により循環型社会の実現に貢献します。ルーメン液を用いることで植物性残渣のみでも発酵可能なため災害時の熱源・電源としても活用可能です。

Jパワーは今回の出資により、ハイドロヴィーナス、ワタスミ、環境微生物研究所が有する先端技術や革新的なアイデア、新たな事業モデルなどと、当社が発電事業などで培ってきた技術やノウハウを融合し、新たな事業を創出することで、「[J-POWER“BLUE MISSION 2050”](#)」で掲げたカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



写真：ハイドロヴィーナスの水流発電機



写真：ワタスミの有機排水処理装置



写真：環境微生物研究所のメタン発酵装置

ハイドロヴィーナス 概要

会社名：株式会社ハイドロヴィーナス

URL：<https://hydrovenus.co.jp/>

代表者：上田 剛慈

設立：2015 年 1 月

事業内容：流体励起振動技術に基づく水流発電システムの開発・製作・販売および河川センシングサービス

ワタスミ 概要

会社名：Watasumi 株式会社

URL：<https://www.watasumi.com/ja>

代表者：シンプソン・デイヴィッド

設立：2021 年 10 月

事業内容：微生物燃料電池技術をベースとした有機排水処理システムの開発、製造、販売

環境微生物研究所 概要

会社名：環境微生物研究所株式会社

URL：<https://ybaba1.wixsite.com/rumen115>

代表者：馬場 保徳

設立：2022 年 8 月

事業内容：牛の胃のルーメン液を用いた高効率メタン発酵システムの開発、製造、販売

Spirete 概要

会社名：Spirete 株式会社

URL：<https://www.spirete.com/>

代表者：渡邊 康治

設立：2019 年 1 月

事業内容：異分野の技術や専門知識、経験の融合によるスタートアップの事業立ち上げ支援

以 上